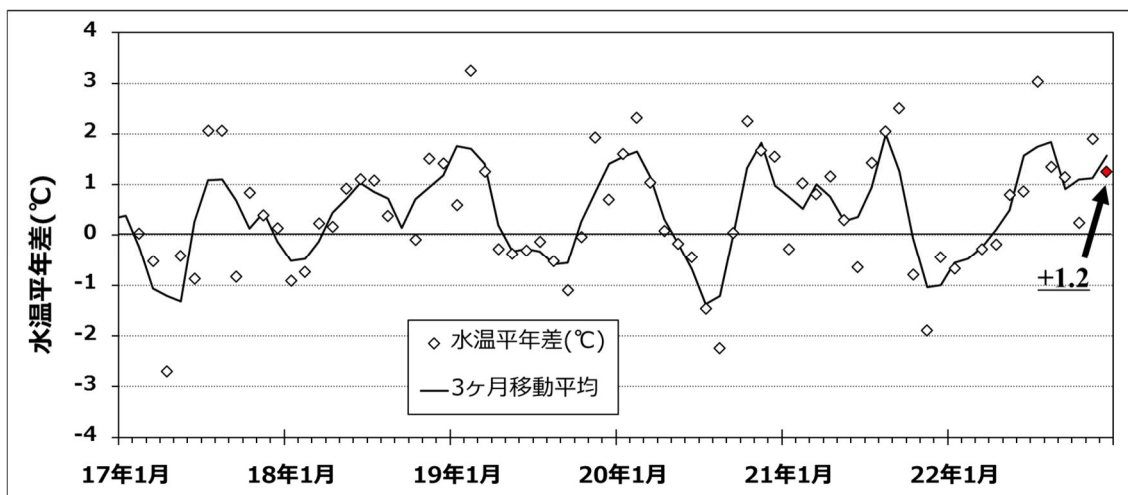


【水温の変動】

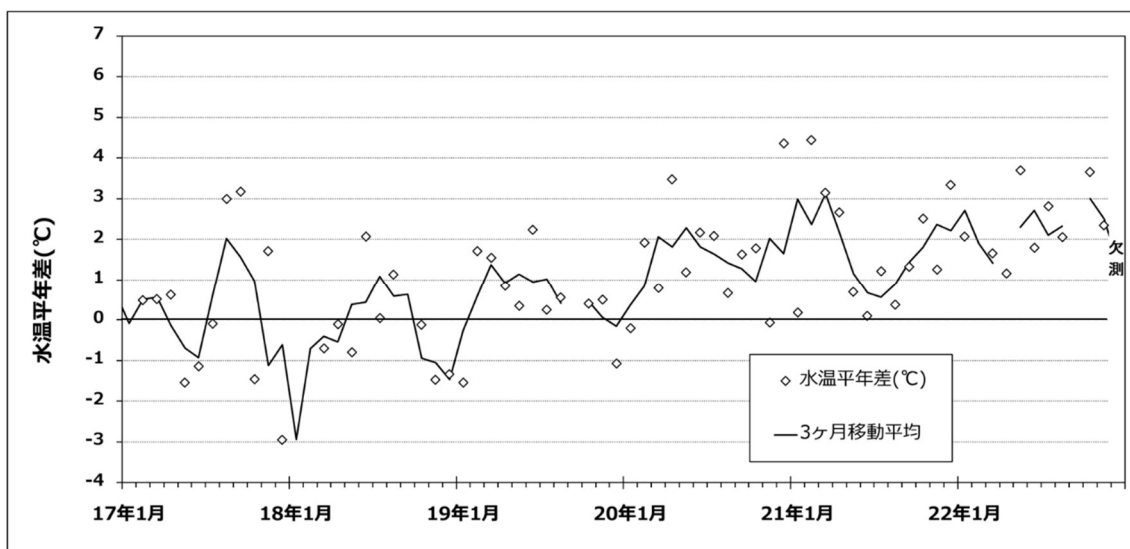
12月7、8日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。なお、荒天のため、A2～4、11、12、15は欠測となりました。

湾口部では平年差+1.2℃でやや高めとなっています。12月8日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖の北緯32度付近から御前崎沖北緯31度付近まで緩やかに南下した後、御前崎沖北緯34度付近までS字に北上し、東へ流れています。現在の流路は黒潮流軸の南端が北緯32度以南にあり、かつ御前崎正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっています。遠州灘沖北緯34度付近へ北上する黒潮本流の影響により、遠州灘沖は高温傾向が続いています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

湾口部から渥美外海にかけての水温は、表層で 16.6~21.5°C となっていました。クロロフィル a 濃度は、湾口部 (P17~A1) の 20m 付近で最も高くなっていました。

水温の水平分布図と水温、塩分、密度、クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

